



MS317-18001 リヤウインドウルーバー

取付・取扱要領書

この度は86用TRDリヤウインドウルーバーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDリヤウインドウルーバーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- ★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。
- ★ リヤウインドウルーバーを外し、ブラケットのみを取付けた状態で一般公道を走行する事は、保安基準違反となりますので絶対にお止め下さい。

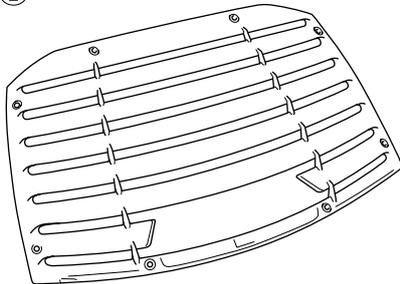
■品番・適合一覧表

品番	色	備考
MS317-18001	ブラック	86 全適応 '12.04～

■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	リヤウインドウルーバー		1	ワックス掛け不可(撥水性カーシャンプー、ガラスコーティング剤含む)(P2参照)
②	ブラケット		6	
③	ブラケット LH		1	
④	ブラケット RH		1	
⑤	ボルト		8	
⑥	ワッシャー		8	
⑦	六角レンチ		1	3mm
⑧	PACクリーナー		1	No. 300
⑨	PACプライマー		1	N-200
⑩	取付・取扱要領書		1	本書
⑪	型紙		3	

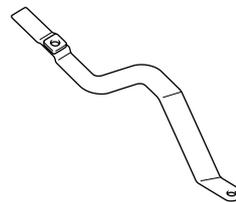
①



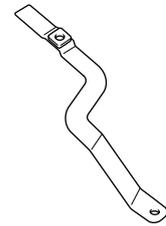
②



③



④



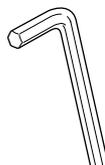
⑤



⑥



⑦



⑧



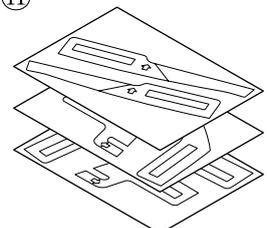
⑨



⑩



⑪



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

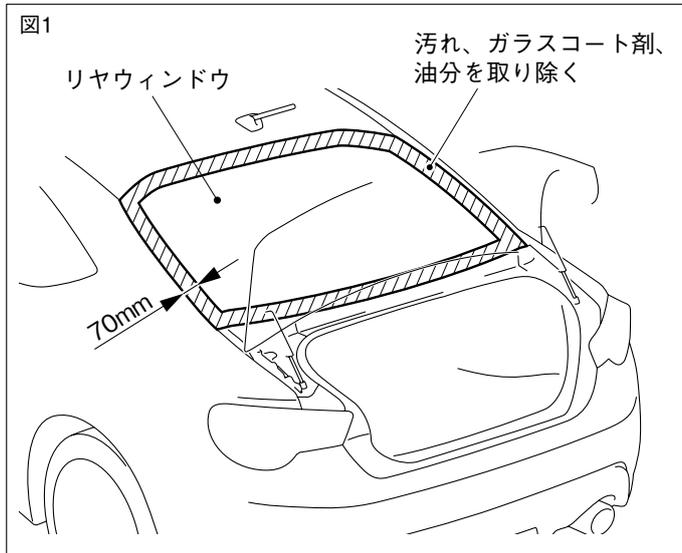
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

確認 本商品は過去に事故歴のない車に、確実に装着出来ます。

-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をお止め修理工場にて点検を受けてください。
-  **警告** リヤウインドウガラスを清掃する時は、「取付要領 _ 16.」と逆の順でリヤウインドウルーバーを取外し、清掃完了後「取付要領 _ 16.」の手順に従って確実に取付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故や故障の原因となります。

-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付けの際は必ず本書をお読み頂き、指示・注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 車両へのリヤウインドウルーバー取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を十分に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及びガラス面を、ドライヤー等で40℃程度に温めてください。
-  **注意** 本商品の取付け後24時間は、洗車等での水濡れを避けてください。また、取付け後の車両扱いについても洗車機及び高压洗浄機の使用は破損の原因となりますので、避けてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 本商品は使用されるワックスやカーシャンプー等の種類によっては劣化を早める恐れがあります。洗車にてカーシャンプーを使用した際、特にボルト締付け部等の液溜りしやすい箇所は念入りに洗い流してください。また、ワックス塗布の際、リヤウインドウルーバーに付着したワックスは放置せず、速やかに拭取ってください。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。



□取付準備

1. 図1に示すリヤウインドウガラス外周より内側約70mmの範囲の汚れを、油膜取り剤等できれいに除去してください。

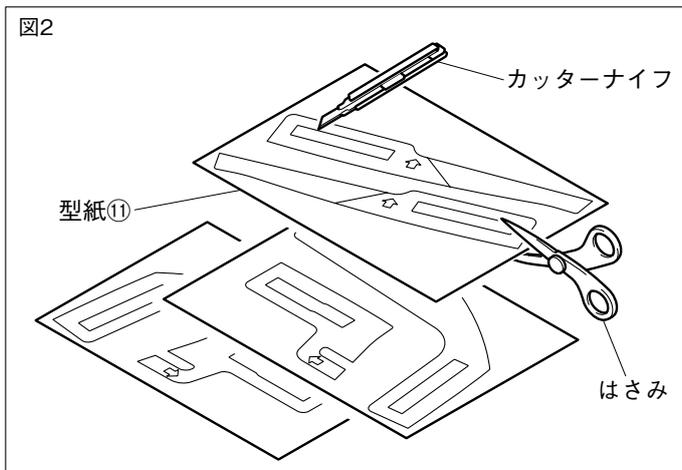
⚠警告：ガラスコーティングが施されている場合は、ガラスに傷を付けないよう細目のコンパウンド等で除去した後、必ず脱脂を行ってください。

2. 図1の範囲をPACクリーナー⑧で一方方向に拭いて脱脂してください。

⚠注意：脱脂を行う際はPACクリーナー⑧を使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、両面テープが剥がれる原因になります。

また、使用前にPACクリーナー⑧の使用期限を確認し、切れている場合は、お手持ちのIPAまたは、ホワイトガソリンで確実に脱脂を行ってください。

使用期限はPACクリーナー⑧のパッケージ枠外で確認できます。



3. 図2に示すように、型紙⑪をカットラインに沿ってハサミ、カッター等で切り取ってください。(型紙6枚)

⚠注意：カッター使用時は、怪我のないように十分注意して作業してください。

図3：型紙概要図

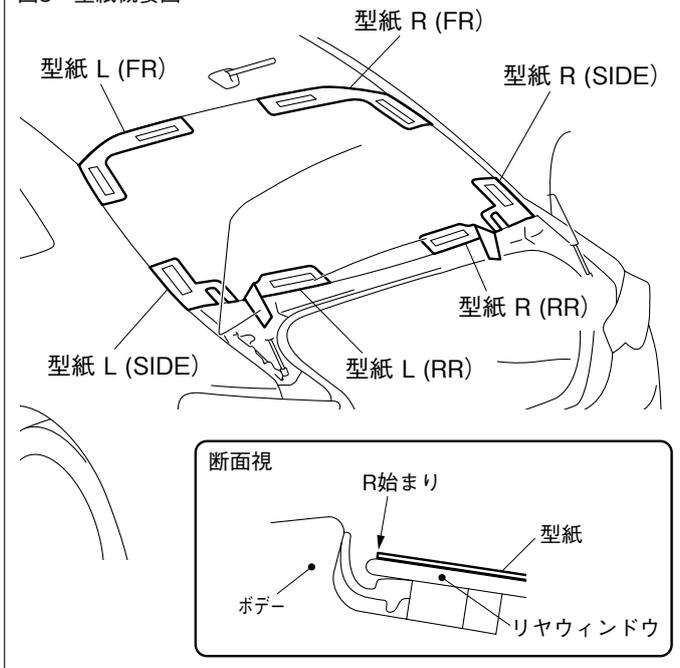


図4

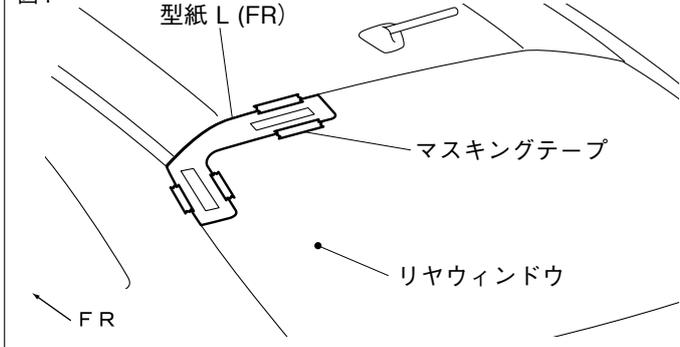


図5

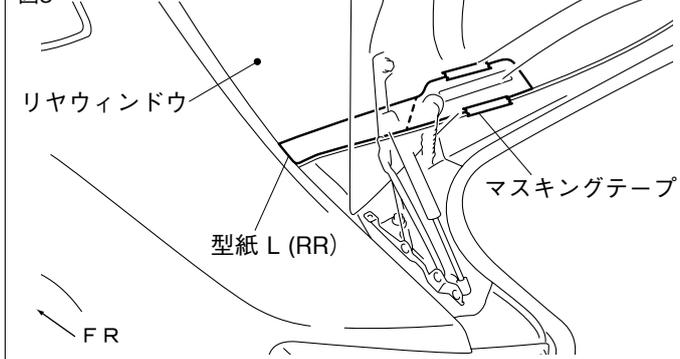
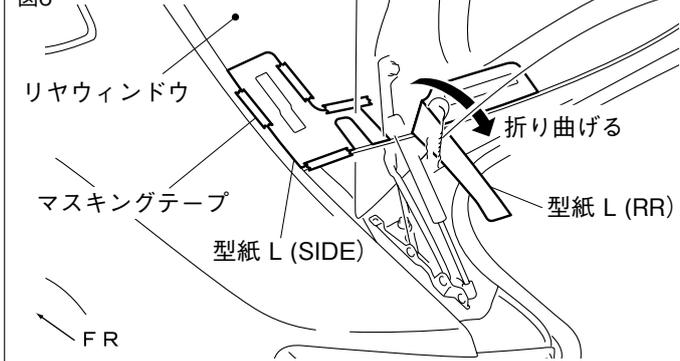


図6



□取付要領

 **アドバイス**：本書は、LH側の取付け作業要領を記載していますが、RH側も同様の手順で取付け作業を行ってください。

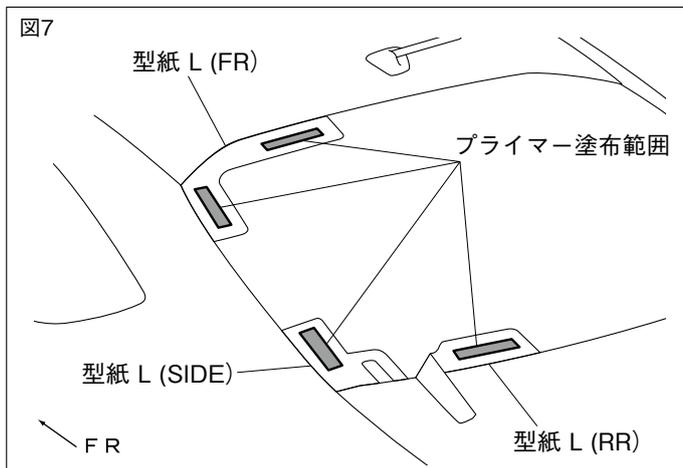
 **アドバイス**：型紙はすべて、ウインドウ端のR始まりを基準に固定してください。

1. 図4に示すように、型紙 L (FR) をリヤウインドウガラス形状に合わせて、マスキングテープで固定してください。

2. 図5に示すように、型紙 L (RR) をリヤウインドウガラス形状に合わせて、マスキングテープで固定してください。

3. 型紙 L (RR) を固定した後、端を点線部で折り返してください。

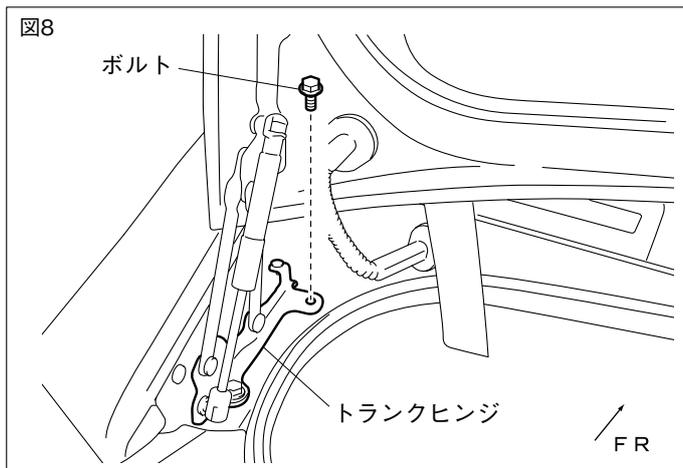
4. 図6に示すように、型紙 L (SIDE) をリヤウインドウガラス形状に合わせて、マスキングテープで固定してください。



5. 図7に示すように、ブラケットを取付ける範囲のガラス面に、付属のPACプライマー⑨を塗布してください。

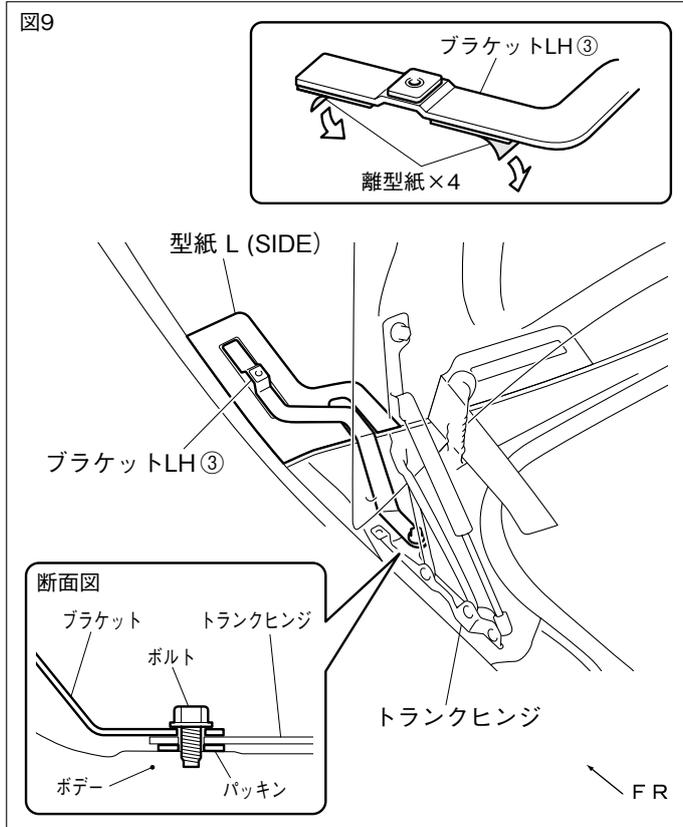
△注意：プライマーがボディに付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまうと、ボディが黄色く変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



6. 図8に示すように、車両修理書に従いヒンジ固定ボルト（1本）を取外してください。

△注意：トランクのヒンジ固定ボルトを取外してから固定するまでの作業は、LH側、RH側の片側ずつ行ってください。



7. ブラケット LH③の離型紙を剥がしてください。

8. 図9のように、ブラケット LH③を型紙の位置に合うように、取外したヒンジ固定ボルトで仮止めしてください。

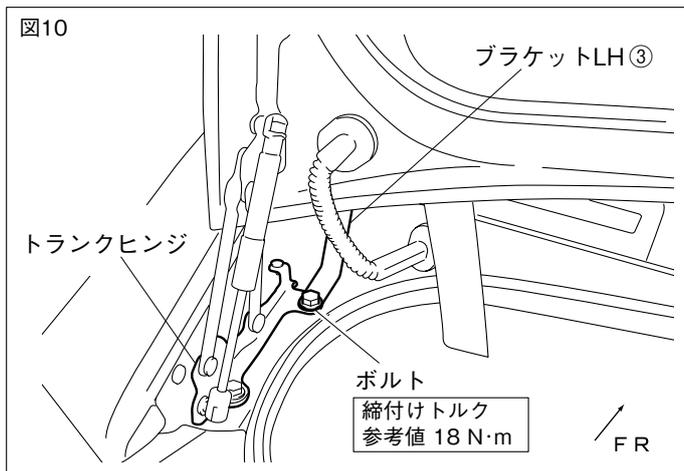
△注意：両面テープの接着面が型紙、その他のガラス面に貼り付かないよう、ブラケット LH③を浮かしながら作業してください。

△注意：図9（断面図）に示す車両のパッキンを紛失しないように注意してください。

9. ブラケット LH③の両面テープ部を{49N (5kgf) 以上}で圧着してください。

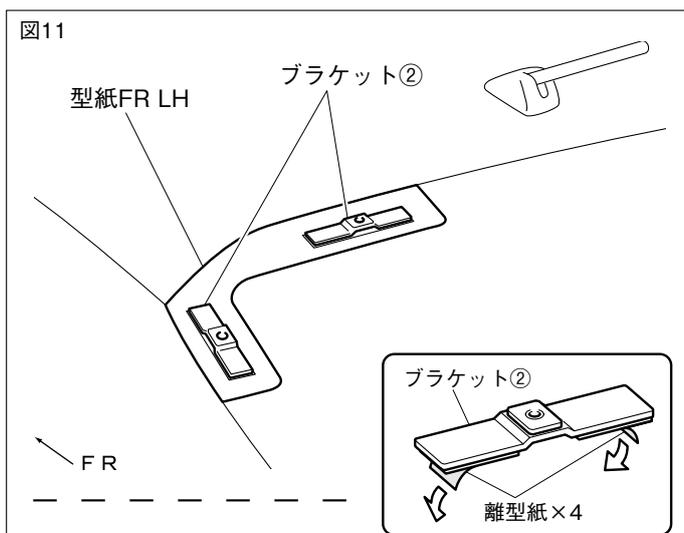
△注意：両面テープの接着力を十分に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及びガラス面を、ドライヤー等で40℃程度に温めてください。

△警告：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれの原因となります事があります。



10. 図10のようにブラケットLH③を、車両修理書に従いトランクのヒンジ固定ボルトで締付けてください。

締付けトルク参考値 {18N (1.83kgf)}
※車両修理書に従ってください。



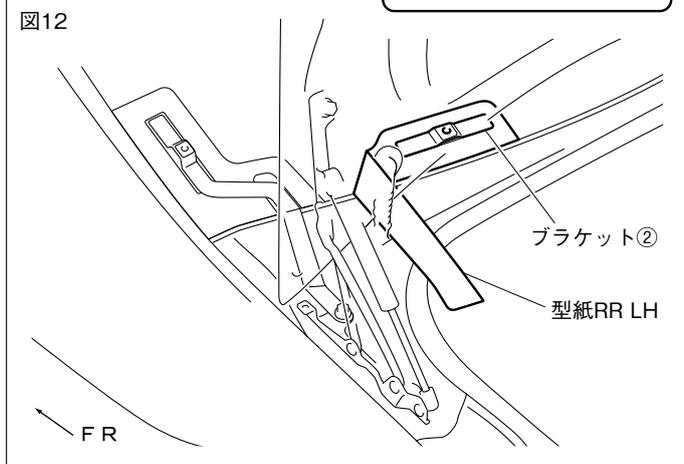
11. ブラケット② (6個) の離型紙を剥がしてください。

12. 図11, 12のようにブラケット② (6個) を型紙の位置に合わせて貼付け、両面テープ部を **{49N (5kgf) 以上}** で圧着してください。

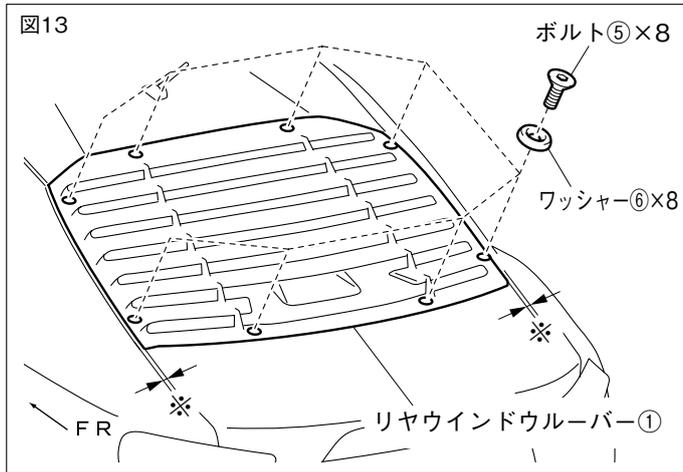
△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているため、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

△警告：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれの原因となります場合があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



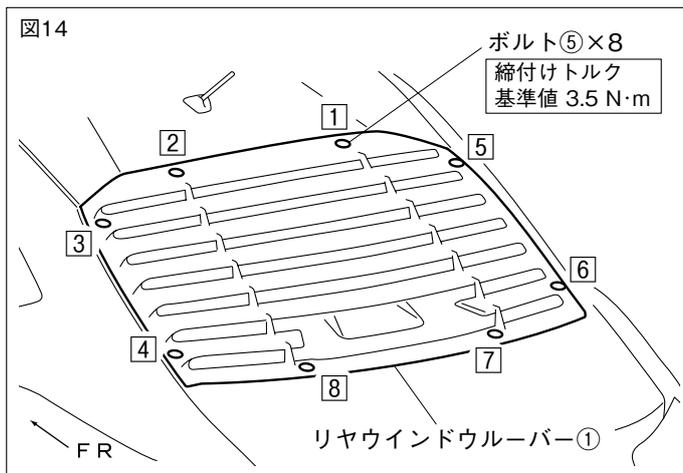
13. 型紙をすべて剥がし、各ブラケットからはみだしたプライマーを拭き取ってください。



14. 図13のようにトランクを閉めた状態で、リヤウインドウルーバー①を各ブラケットに取付け、ボルト⑤とワッシャー⑥で仮固定してください。

⚠ 警告： 付属のボルト⑤、ワッシャー⑥以外には使用しないでください。車両の破損や事故の原因となる事があります。

15. リヤウインドウルーバー①サイド面とウインドウガラス端面を平行で、左右の隙が均等になるように調整してください。(図中※印)



16. 図14に示す順序に従い、ボルト⑤を {3.5N (0.35kgf)} で締付け、リヤウインドウルーバー①を固定する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤウインドウルーバー周りに傷を付けていないかを点検する。
2. リヤウインドウルーバーに浮き、剥がれの無い事を確認する。
3. トランクをゆっくり開閉し、取付けたリヤウインドウルーバーまたはブラケットと干渉が無い事を確認する。

■リヤウインドウのお手入れについて

- ・ リヤウインドウルーバーを外しリヤウインドウの清掃をする際は、六角レンチ⑦を使用し、上記の取付手順図14の逆、⑧～①の順にボルトを外しルーバーをウインドウと平行に持ち上げて外してください。
- ・ 取付けは上記 図14の手順に従い、確実に行ってください。取付け後は上記注意事項3に従いトランクとの干渉等の確認をしてください。